



「志」大野中だより

令和6年3月11日(月)

文責:校長 瀬口 勇治

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます!

3月8日(金)に令和5年度第77回卒業証書授与式が行われました。素晴らしい晴天のもと、保護者・地域・来賓の方々に見守られ、清々しく、厳粛で、素晴らしい式典を開催することができました。

175名の卒業生は、呼名においては、元気に大きな声で返事を行い、心を込めた美しい声で式歌や校歌を歌ってくれました。さらに、生徒会長の新 心花さんの答辞は、これまでの中学校生活の思いと感謝がたくさん詰まった素晴らしいもので、卒業生、保護者の涙を誘う素晴らしいものでした。

また、校長式辞の中で、3つの言葉を贈りました。「志」「挑戦」「感謝」の言葉です。特に、「挑戦」については、『新型コロナウイルスや相次ぐ自然災害、急速なテクノロジーの発達など、変化が激しく、予測困難な時代だと言われています。しかし、この変化を脅威ではなく、新しい可能性を生み出すチャンスであると考えましょう。そして、自分で考え、失敗を恐れず、周りの人たちと協力し、自分を信じて挑戦することが大切です。変化を恐れず積極的に挑戦する気持ちをもってほしいと思います。』と、これからの期待を込めて伝えました。

卒業生も保護者の皆様も教職員にとっても心に残る卒業証書授与式となりました。卒業生諸君の輝かしい未来に、幸多きことを心から祈ります。



3.11 東日本大震災から13年

今日、3月11日(月)は、「東日本大震災」が13年前に発生した日です。警察庁によりますと、東日本大震災による死者数は今年3月1日までに全国で15,900人、行方不明者は2,520人となっています。また、避難者数は、29,328人とのことです。

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から13年。時が経つにつれ、私たちの記憶と教訓は薄れていないか、自問しながら書いています。近年「持続可能な社会」が問われていますが、東日本大震災は持続可能な社会の課題を浮き彫りにしたといわれています。未来ある子どもたちが「命」の尊さを理解し、希望ある明日を生き抜けるよう、今を生きる私たちが風化させてはいけないことがあると考えています。

能登半島地震、九州北部豪雨、熊本地震など自然災害は、いつ、どこで起きるかわかりません。そのためにも、これまでの災害を自分事として捉え、教訓を生かし、備えることが大切だと感じています。中学生も地域の担い手として、自分たちができることをしっかりと考えてくれることを期待します。

今後の行事予定

4月にスタートした1年間が終わろうとしています。今年1年をしっかりと振り返り、新たなスタートに備えましょう。また、現在、生徒会役員を中心に生徒総会の準備を進めています。4月からのスタートをより良いものにするための取組です。伝統を引き継ぎながらも、大きく進化するために皆で力を合わせましょう。

| 日程 | 学校行事 | 日程 | 学校行事 |
|----------|----------|----------|-----------------|
| 3月14日(木) | 小学校卒業式 | 4月8日(月) | 令和6年度1学期始業式 |
| 3月15日(金) | 公立高校合格発表 | 4月10日(水) | 令和6年度第78回入学式 |
| 3月19日(火) | 生徒総会 | 4月11日(木) | 標準学力検査 |
| 3月22日(金) | 修了式・離任式 | 4月12日(金) | 生徒会の日〔対面式、歓迎遠足〕 |